

令和4年度 我が校の学ぶ力向上策

【市町 目標】

○令和4年度教育施策の柱である「New草津型アクティブラーニング」「スクールESDくさつ」「英語教育草津のStandard」を推進することにより、「子どもの学ぶ力」を育成する。

【学校 目標】

○学びを楽しむ子、心豊かな子、人とつながる子 の育成
 子どもの「問い」と「ふりかえり」がつながる授業づくり【Mathematics Grows Humanpower構想】人にやさしく 自ら学び つづける子 あしたをめざして Try!

【現状と課題】

○視点1 昨年度の校内研究の実践により、児童・教師共に学びの自己調整に対する萌芽が見られた。昨年度の実践を踏まえ、校内研究や、個々の教員の実践交流等を通して、個別最適な学びの具体を更に追求していくことが望まれる。
 ○視点2 学校規模を鑑みると、家庭基盤の脆弱性が挙げられる。子どもの「自己肯定感」「自己有用感」を高める取り組みが必要だと考えられる。
 ○視点3 地域ボランティア（「みな小おうえんたい」）のサポートが厚く、それらの協力を、具体的に日々の学習活動に積極的に落とし込むことで、家庭・地域との連携を更に密にし、あたたかい学校づくりに生かしていく。

取組事項および評価指標

※評価：【達成状況 90%以上→A 70%以上90%未満→B 70%未満→C 時期→1回目：9月 2回目：2月】

【視点1】学びを実感できる授業づくり

取組事項	評価指標	1回目 評価	2回目 評価
○算数科を窓口とした校内研究を軸とした授業改善 ・学習ツールの一つとして活用するタブレット端末の効果的な活用	・校内研究アンケート「自分は、「ふりかえり」を書くことで、自分の学習を見直すことができている」四件法において、4の割合46% ・ ・		

【視点2】学ぶ意欲を引き出す学習集団づくり

取組事項	評価指標	1回目 評価	2回目 評価
○「ほめ方・認め方」の工夫による、一人ひとりが大切にされる学級集団づくり ※「R4 南笠東小こころあったかプロジェクト」	・学校児童アンケート「学校は楽しい」四件法において、4の割合65% ・ ・		

【視点3】子どものために一丸となって取り組む学校づくり

取組事項	評価指標	1回目 評価	2回目 評価
○運営会議、二部会、校内研究会等に、OJT研修を計画的に連携させることで、情報共有、駆動力共にチームとして子どもの育成に取り組む。 ・総合学習を始めとする、家庭・地域・学校の積極的な連携	・教職員向け学校評価アンケート「教職員のニーズを捉えた学校課題に係る校内研修に取り組んでいる」四件法において、4の割合50% ・ ・		

◇「学ぶ力向上策」の実効性を高めるために、いつ、どのように職員全体で共通理解を図り、共通実践し、検証・改善していくのか、時期や手立て等を記載してください。

・「我が校の学ぶ力向上策」は、二部会（学力向上）にて、共有・周知を図り、進捗状況や達成に向けての修正の必要性を随時協議する。（二部会→毎月開催。その後、職員会議にて周知）
 ・視点1の実践は、校内研究主任が中心となり、校内研究推進委員会及び校内研究全体会を通して、実践を推進していく。（本年度は、滋賀県総合教育センター「サテライト」事業との連携有り）視点2は、学校長のリーダーシップのもと、人間力部会との連携して推進。視点3は、教務部が中心となって、組織的な実践につなげる。
 ・例年通り、全国学力学習状況調査テストの校内における児童答案の分析を、6学年の担任だけではなく、全教職員で検証・改善策を協議する。また、学力部会での更なる検討を重ね、校内研究の進捗状況を鑑みて、系統立てた実践を提案していく。（第一次分析→5月中・第二次分析→2学期※全国学力学習状況調査テストの結果を受け、本校児童の課題となる、正答率の低かった問題を、職員打ち合わせ時間を使って全教職員が取り組み、今後の指導のポイントを見出す）

今年度の取組の成果と課題

--